光琳新撰百圖
下

絹本極彩色秋好中宮

不争庵藏

添帖　抱一上人

箱書付古筆了伴

法橋光琳

画幅之一

長月なれは紅葉むら／＼色つきて
宮の御まへえもいはすおもしろし風
うちふきたる夕くれに御はこのふた
にいろ／＼の花もみちをこきませて
こなたにたてまつらせ給へりおほきやかなる
童のこきあこめしをんの織物かさねて
赤くちはのうすものゝかさみいと
いたうなれてらうわたとのゝそり
はしを渡てまゐるうるはしき儀式
なれと童のをかしきをなむえおほし
すてさりけるさる所にさふらひ馴たれは
もてなしありさま外のには似す
このましうをかし御せうそこには

秋好中宮
心から春まつ
そのはわか
やとの
もみちを
風の
つてに
たにみよ
もと紅葉の枝にして
推一誌

右源氏物かたり乙女巻の詞
秋好中宮ニ添
鳥の子紙金銀泥引

金地二枚
杉屏風
墨画
梅竹

蒔画すゞり箱のかゞみ

寛哉藏

右ふたのうら

蒔画之箸　丈一尺八寸

琹山蔵

右蒔画左の如し

同之箸

蒔画左の如し

蒔画印籠
地金ちん波なかり
寸法の図

同印籠
地黒ちん尾花
青貝金銀
芽あまり
寸法の図

箱書付　古筆了伴
琹山蔵

紙本淡墨
法橋光琳
絹本淡墨
法橋光琳

紙本
淡彩
鉄拐

法橋光琳

絹本彩色福禄寿

舊松軒蔵

金地六枚折
片双
暮秋草花
極彩色
箱書付
抱一上人

法橋光琳 方祝

金地刀拭極彩色
下ゝ銀泥おきあけ
麻の子郡まくま
西宝花

そうゝ極彩色
菊ハおもあ什
花の色朱白黄
ゝ紫なるの

壬一

法橋光琳

右同蓋
みだれ箱

内絹地金箔押　波郡青
外木地菊ニ桔梗蒔絵
雪輪金銀泥
裡桐板ニて内ハ玉縁
丈一尺二寸四分
横一尺七分

絹本
彩色
二幅対
法橋光琳
法橋光琳
其二

絹本淡彩

大井川うかふねのうち東山みちて
此寺にやどりたる木の郎良臣

日野大納言輝光卿讃　梅一上人實定添

法橋光琳

紙本墨画

法橋光琳

絹本
彩色
乙御前

法橋光琳写之

紙本[illegible]

法橋光琳

某布蔵

紙本淡ゝ画

紙本
彩色

屏風六枚折
本六尺一双
白梅
紅葉
極彩色

紙本淡墨

紙本淡墨不白郡

絹本淡彩

紙本墨画

絹本彩色

二枚折金屏風佐野のわたり極彩色

法橋光琳（方祝）

金地六枚折
屏風片双
四季之草花
極彩色
翠山筆

紙本淡墨

絹本淡彩

紙本淡彩 蜆子
青々光琳
紙本淡墨小町
箱書付神尾備前守殿
絹本彩色
紙本淡墨

紙本淡彩色　周茂しく

紙本水墨

絹本淡彩

法橋光琳

紙本彩色

青々光琳

紙本

法橋光琳
古硯

絹本彩色三幅對

不爭庵藏

法橋光琳畫

法橋光琳

絹本
墨画
右布袋ニ
添文
法橋光琳
屏風
六枚折
本六尺
一双
金雲形
銀砂子
松ニ岩
極彩色
波濃彩
青々光琳
伊亮
This pair of screens are owned by
Baron Iwasaki, Sept/06
of Tokio B.Kobayashi

この図はつまてのきみの道をこえたる人の
ためなとて師の大人の譲のまゝに
あつめものせむとおもひつれなるを
おもほ思ひけさ故應挙大人の絹本
の為もの形と見ゆまゝにまきゐて子となと
まさへ浮となくてはおほれしまゝにまたま
しのうきふみして此を寫しえ
強ひねとそのしつかにならへ
めとりしへそれは夜きゝてあら

ゑらばれたる物なりけん人々ゆるされきこえ
まほしうとこそあやしうこそねがひぬ
元治元年弥生のはじめつかたこれ
甲子春日子蕃誌す 堤

彫工 清水柳三